

---

# 夢中

霧夜

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

JのPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢中

### 【著者名】

N5330A

霧夜

### 【あらすじ】

私はある日、両親を殺す夢を見た。悪い夢だと思った。でもそれは

私は今日、人が死ぬ夢を見た。

正確には、人 それも両親を殺す夢だ。

私は夢の中で、包丁を振り回していた

……駄目だ、考えては。

私は悪い夢を搔き消す為に、頭を軽く振った。

忘れよう。

所詮夢なんだから。

私は手早く着替えをし、一階の部屋から出た。  
キッチンは一階だ。

ゆっくりと階段を下り、階下へと向かつ。

大丈夫。

また今日はいつも通り始まり、まず母と父が明るく笑いかけてくれる。

私達は挨拶を交わし、ご飯を食べ、一日を開始する

ああ。

そういえば。

私が夢の中で両親を殺害したのは。

キッチンだつたな

キッチンのドアを通り抜ける。

死んでた。

二人が。

血塗れ。

倒れて。

包丁が。

刺さつて。

……あれ？

なんで？

嘘だ。

いや、現実だったのか？

解らない、解らない。  
何も。

私、殺してなんてない。

そんな理由、ないもの。

ないはずだ。

格別に変わった事なんか。

二二〇

母が。

私と彼の仲を引き裂いた。

父が。

成績の落ちた私の顔を殴つた。

それだけで。

別に恨みなんて。

いつもと同じ事じゃないか。

そうだったじゃないか。私はずっと、家族と一緒に毎日が楽しくて

そんなわけない。

私の邪魔ばかりする母が好きなわけない。

私に暴力を振るつばかりの父が尊敬できるわけない。

なら、私はずっと、

殺したいと、思ってたんだ。

積もりに積もった私の本当の願いを。

私は果たしたのだ。

首から多量の血液を流す母。

心臓にまるで杭のように包丁を突き立てている父。

動かない。

ぴくりとも。

何も感じられないその姿。

もう私に何も出来ない。

動かない両親。

ああ

私は自分の願いを叶えたのか。

それが、私の夢だったのか。

今も私は、夢の中に沈んでいるのだろうか

目を覚ました私は、自らが望んだ新たな夢の中で、

溺れている。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5330a/>

---

夢中

2010年10月28日08時38分発行